

平成17年3月15日

**物流連ニュースリリース**

**物流連 大学寄附講座に対する受講生の感想・意見を公表**

(関西大学寄附講座にて)

(社)日本物流団体連合会が提供します大学寄附講座につきましては、本年度の全てのスケジュールが無事終了しましたが、このうち、関西大学において期末試験の際に受講した各学生に対して、「時間に余裕がある場合は、この寄附講座による講義について感想、意見を付記して下さい。」と設問したところ、別紙のような感想・意見が寄せられました。

これは、試験後、同校 三上博美教授がまとめられたもので、学生の忌憚ない率直な意見・感想が寄せられていることから、同校の了承を得て公表することと致したものです。

当連合会では、このような受講生からの感想・意見等を踏まえ、来年度も益々有意義な講座となるように大学側とも協力して改善を図っていくとともに、過去最多となる4校(早稲田大学、関西大学、横浜国立大学、専修大学)での開講体制で実施することとしています。この寄附講座を通じて、より物流を身近にかつ正しく理解していただくとともに、物流業界への優秀な人材の引導につながればと思っております。

以上

(連絡先) 03-3593-0139

担当 大橋

## 受講生(受験生)の感想、意見

「時間に余裕がある場合は、この寄付講座による講義について感想、意見など付記して下さい。」これに対して27人から以下の文が寄せられた。(原文のまま再録、一部略)

私は、法学部の学生ですが、流通や物流に興味があり、この講座を履修しました。企業が環境問題に対して取り組んでいるのは、消費者の考え方やニーズの変化によるもので、全員が地球環境を改善していこうとする姿が大切だと思った。

実務家の話は経験に基づくため重みがありまた新鮮でありました。

実務に携わる方々のお話を聞く機会はなかなかないと思うので、各方面の方のお話が聞けてとても有意義であったと思います。物流に限らず、多方面の方々のお話を聞いてみたいです。

この時間を通して物の流れが深く理解できた。特に業界を通じての環境問題の対策、ITの導入の取り組み、より一層コストが低く安全な取引への対策には、感心するところが多々あり、感激した。物流を様々な目で見れるようになり、この授業を取って大変良かった。

環境問題に対して日本の物流業界がどのように取り組んでいるかを聞いて良かった。

私も物流に関わるトラックのドライバーやっていますが、物流業界の中で色々のサービスなどが考えられ、実施する過程を見れて、興味深かったです。また、現場の人間にはわからない経営方針や企業努力などもあるということが、いい勉強になりました。また、物流に関わる人間として、より仕事に対して積極的になれると思います。また、授業において、運輸局の方などの話を聞いて良かったです。

履修する際に漠然ととって見たけど、授業の内容は興味を持てる内容のがあってよかった。身近な名前とかが出てくるので分かった気になれた。いろいろな企業や専門家の人たちにはわざわざ話にきてもらって講演会みたいな感じの方が強かった。

いろいろな企業のお話を聞いて良かったと思う。これからもこういった現場に関係している人の話を聞きたいと思う。

たくさんの企業、たくさんの会社をささえる方々の話が聞けて、興味深かったです。自分の地元にも物流センターがあったりで、前から気になっていた企業もありました。お話を聞いたり、講義の資料のなかに、その企業の戦略やビジョンが見えたり、就職活動を今から行なう上でも興味を引く内容がありました。本来ならば、一人の教授がずっと講義をしている形が多いですが、このような形でたくさんの方々の意見や話を聞ける場は非常に少ないと思っております。この講義を受講して得たものは小さくありませんでしたし、良かったなと感じております。ありがとうございました。またこのような講義を盛んに行なっていただけたらと思います。

多くの企業の方のお話を聞くことができたのは大変勉強になりました。ただ、授業としてはなんだかバラバラのようであり集中できなく、また、どのようにまとめれば良いのかわかりませんでした(年のせいかわかりません)。

普段大学では聞くことのできない企業の社長さんの話を間近で聞くことができとても光栄でした。大変ありがたい話や為になる話をさせていただいて興味が毎週わきました。

寄付講座は、講師の方たちは熱心だったのですが、授業のつながりが見つけられなく、一つ一つが孤立していて私にはわかりづらい授業でした。おそらく熱心すぎたのだと思います。物事は八分目

位が良いと思うのですが。

誤字が多くてすみません。それはともかくとして、私はこの講義に大変興味をもっていました。しかし仕事の関係上、この時間帯に大学へ来るのが難しく、半分位しか講義を受講することができなかったのが残念でした。色々な企業の担当者が大学へ足を運んで講義をしてくれるという機会は、そうあるものではありません。そういう意味でも残念です。今回の講義を振り返って思ったことです。

私はこの授業を受けるまで物流についてあまり考えた事がないというより、物流というものの存在すら意識したことがありませんでした。しかし、授業を受けてみて、いかに物流というものが社会にとって大きな役割を果し、そして大変な事やっているかということを知り驚きました。物流とはなにか、木や花の根や、土の下にある下水管のよう目にふれることは少ないが、なくてはならない重要なものといった感じを受けました。また、普段は接することのない企業の最前線の方のお話を聞いたのもよかったです。

物流といってもさまざまな仕事があり、その方々からお話を聞いたことは良かった物流業界の中で一つ一つの仕事に関連していて密接に結びついていることが実感できた。生き残って利益を出すためにはさまざまな戦略を考え環境も考慮していかなければならない。

実際に物流に携わり働いている方々の話を聞いて、あまり実感のわかかなかった物流というものがつかめたような気がします。ただもう少し若い、現場で働いている人の話も聞けたらと思いました。

この寄付講座は、とてもわかりやすく良かったと思う。普段の講義で学べる知識とはまた違った面での知識を得ることができたといえる。就職活動で抜けてしまった講義もあったのが残念でしたが履修して良かったと思います。ありがとうございました。

この寄付講座を受講して良かったと思う点は、さまざまな企業の方の話を聞いたことです。流通の生の声が聞け、また就職活動を控えている三回生の私にとっては企業研究にもなりました。流通の分野は消費者である私達にとって見えにくい分野ではありますが、今回、トラック輸送や航空輸送等の話は見えにくい分、興味をもって聞くことができました。ただ一つ改良してほしいと思う点は、理論的な話をもっとくだけた、わかりやすい言葉にしてほしかったということです。あと、これは提案なのですが、せっかく外から(企業から)来てくれているのですから、もう少し交流のある授業にしてみてもどうかと思います。

この授業はとてもためになるものでした。実際に現場で働く人の生の声を聞いたという感じがしました。物流ということ、たんに物を供給者から需要者へ運ぶというイメージしかなかったのですが、物流といってもさまざまな方法、手段があるのに驚きました。これからは環境問題にも対応できるような物流の在り方が考えられていることはとても興味深いことでした。この授業を受けて、物流についても深く知ることができました。

実際の話聞くことができる機会はなかなかないので、是非続けて欲しいと思いました。

この講義は、具体的なことを学べるので、とても役に立ったと思うし、知識が増えた気がして、すごく満足感をえています。本当にそれぞれの講師の方が、詳しく説明して下さいだったので、忙しいにも関わらず、関西大学で、教えて下さって本当に感謝しています。詳しいレジュメなどは、見易く工夫して下さい。学生のためを思って作ってくれたんだなと思うと、うれしく思います。この講義は普段では受けることができないので、貴重な授業を受けられたなあ、と思いました。私は、就職活動中なので、もしも物流業界を受けるなら、是非参考にしたいと思いました。本当にこんな機会を与えて下さりあり

がございました。

この授業では、物流の調達 生産 販売 消費 回収の基本的なシステム、その中でおこる環境問題、その対策法や改善法が図などでわかりやく説明されてよく理解できました。また、輸送などの手段が、トラック 船や航空などに変化したりもよく分かりました。

パワーポイントを使った講義はとても分かりやすく、またノートを取る手間もはぶけたのでとても講義に集中できよかったです。後期だけでしたがありがとうございました。

仕事の都合上、なかなか授業を受けられませんでした。しかし、クロネコヤマトの講義時のように、ビジネスライクな話は、これから社会人になる僕にとっては刺激あるものでした。ただ、パワーポイントの画面が見にくく、ノートがとりにくい時がありました。

他の授業とは違って、先生以外の人の話を聞いたり授業を受けたりしたので楽しかったです。でも、あまり授業に出れなくて申し訳ございませんでした。僕としては、環境問題を取り上げた授業でこれだけのプリントを使用するのはどうかと少し思いました。

日本通運の方の話を聞いて、物流の最前線の話が聞いて良かったです。物流と環境の関係が思ったより深く、驚きました。このような実際にその現場をくわしく知っている方の生の話しが聞いてこの講義は楽しかったです。仕事をしているのですが、全く別の業種なので、新鮮であったです。

この講義に参加して、物流業界の変遷や物流業界の飛躍的な進展、情報通信技術を取り入れたシステムの構築、そして地球規模、都市型の環境問題など様々な側面から「物流」を学ぶことができ、非常に勉強になりました。21 世紀は「環境の世紀」とも言われているので、この物流の授業を糧として自分も環境のことを真剣に考え、少しでも社会に貢献していきたいと思いました。

以上